

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山セントラルパーク駅前市有地活用事業		会計	款	項目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	誘致推進課			
施策	1-2	地域特性に合った良好な市街地整備	主管課長	武井 厚			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山セントラルパーク駅周辺	意図	定住人口と交流人口の増加が図れる良質なまちの形成が進み、新たな地域の拠点として発展する
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 駅前市有地に教育、子育て、文化、健康、環境などの公益サービスを地域に提供する事業者の誘致を行う。 事業者が市有地で事業を進めるにあたり、市で行う各種手続きにおいてサポートする。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度にプロポーザル方式により事業者を公募し、暁星国際学園グループを優先交渉権に決定し、平成24年1月に同グループと事業契約を締結した。 第1期整備分（幼稚園及び店舗併用住宅）は、平成26年春完成。 第2期整備分（小学校）は、平成28年春完成予定。 第2期整備分が国土交通省の「都市機能立地支援事業」に採択され、補助金の内定を受けた。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	建設工事着手面積率	18.55	18.70	18.70	
②	第2期整備区域整備率	0	0	0	%	↑↑↑	事業者からの報告
③	流山セントラルパーク駅1日平均乗車人数	2,970	3,283	3,442	人	↑↑↑	TXホームページから数値取得
④	流山セントラルパーク駅周辺人口	6,005	6,272	6,411	人	↑↑↑	駅を中心とする半径500m以内の大字の住民基本台帳人口（年度末）
指標で表すことができない定性的な成果	事業の進展による周辺区域の良好な空間の形成						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） <ul style="list-style-type: none"> 平成26年4月に幼稚園及び店舗併用住宅部分が竣工した。 平成26年度園児数：57名（年少32+年中20+年長5） 住宅入居状況：61戸入居/全71戸 テナント入居状況：1店入居（動物病院）、残る1店舗はカフェ、ベーカリー等を対象に募集中。 第2期整備エリアの小学校整備に向けてた設置計画承認申請を県学事課に提出し協議中。 都市機能立地支援事業が採択され、国土交通省から暁星国際学園に交付される見通し。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		4,306,800	2,096,100	3,454,633			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		4,306,800	2,096,100	3,454,633			
人役・職員(人)		0.60	0.30	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	国の支援（国土交通省の都市機能立地支援事業の交付）対象となるように庁内調整と国や県との協議・相談を適宜行う。	③取り組みの課題	円滑に小学校整備が進むための効果的な支援の実施。
②今年度(H26)に実施した取り組み	国や県との協議・相談を重ね、都市機能立地支援事業の申請に必要な書類等の作成の面で支援を行った。	④今後の改善計画	暁星国際学園と都市機能立地支援事業の交付に関係する国や県の担当部署並びに小学校設置認可を所管する県学事課との協議・相談を適宜行う。